



Woody Valley

「ウッディーバレー ハーネスにおける 問題性のあるフィンシュテルバルダー製バックルの 交換・取付方法」

(付記1:2016年6月4日フィンシュテルバルダー社セーフティーノート)

(付記2:2016年6月13日ウッディーバレー社セーフティーノート)

目次

- ・ Woody Valley ハーネスをご使用のパイロットの皆様へ……………1ページ
- ・ ゲットアップ脚ベルトシステム装備のウッディーバレー ハーネスにおける、問題性のあるフィンシュテルバルダー製バックルの交換方法 ……………2ページ
- ・ Tロックベルトシステム装備のウッディーバレー ハーネスにおける、問題性のあるフィンシュテルバルダー製バックルの交換方法 ……………4ページ
- ・ 付記1:2016年6月4日フィンシュテルバルダー社セーフティーノート……………6ページ
- ・ 付記2:2016年6月13日ウッディーバレー社セーフティーノート ……………8ページ

2016年7月20日発表

Woody Valley ハーネスをご使用のパイロットの皆様へ。

ウッディーバレー社では、フィンシュテルバルダー社製バックルで起こった問題への良い解決策を見出しました。(添付しました、2016年6月4日発表のフィンシュテルバルダー社のセーフティーノートと2016年6月13日発表のウッディーバレー社のセーフティーノートも参照ください。)このことで、お持ちのウッディーバレーハーネスを再び安全で飛行可能な耐空性あるものにすることが出来ます。

ひとつ良いことは、この解決策ではパイロットの皆様が各人のハーネスをメーカーに発送する必要が無いために、飛べない日が生じないということです。

それでは、添付の作業指示書をよくお読みになったうえで、改修キットを請求していただくよう、お願いいたします。

なお、この改修キットは2006年5月以降に生産されたウッディーバレー社のハーネス専用のもので、2006年5月以前に生産されたハーネスについてはすでに全て耐空性は失われているものを認められます。

ウッディーバレー社 スタッフ一同
(株)スポーツオーパカイト スタッフ一同

ゲットアップ脚ベルトシステム装備のウディーバレー ハーネスにおける、問題性のあるフィンシュテルバルダー製バックルの交換方法。

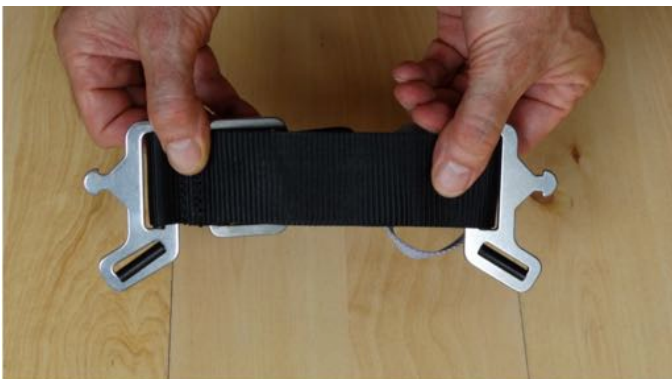
供給キットの前側の画像



現在ついている胸ベルトと交換するための、完全な胸ベルト一式が供給されます。

もし現在ついている胸ベルトがわずかに異なっていたとしても、作業手順に変わりはありません。

供給キットの後側の画像



作業に入る前に、供給されたキットのバックルが元々供給キットの後側の画像ハーネスについているものと同であることを確認してください。

右の画像は、交換の対象となる箇所を示しています。作業前のハーネスをこの画像のように地面あるいは床の上に置き、画像を撮影しておいてください。作業後に全て正しく行われたか確認するのに必要となります。交換用の胸ベルトを入手するまでは、現在ついている胸ベルトをハーネスから外さないでください。



現在ついている胸ベルトをハーネスから外すには、まず、脚ベルトを胸ベルトに接続している調整バックルから脚ベルトを抜きます。このためには、脚ベルトが調整ベルトから抜けるのを防ぐために脚ベルトの端が折り返して縫われている部分を、下の画像のように切り落とします。次の作業手順でベルトの切断面を焼くことを考え、できるだけ丁寧に切り落としてください。



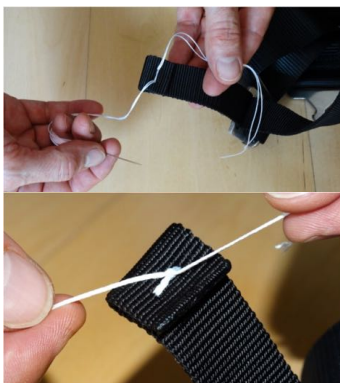
ベルトの切断面を焼くことで、ベルトの繊維がほつれてくることを防ぎます。焼くには、ライターあるいはその他の安全な炎を使用してください。焼いた切断面が冷えたら、しっかり固まっていて、ほつれてこないことを確認してください。

胸ベルトから脚ベルトを抜く前に、画像に示されているようにして脚ベルトの調整長さを測定しておいてください。最終的に元のハーネスセッティングに戻すために、この調整値が必要になります。



調整バックルから脚ベルトを抜いて、胸ベルトをハーネスから取り外します。脚ベルトを抜くときに、胸ベルトバックルの中を通っている黒いプラスチック片が外れていないか注意してください。

脚ベルトを交換用の胸ベルトバックルの中に通し、さらに調整バックルの中にも通して、新しい胸バックルを取り付けます。黒いプラスチック片が胸ベルトバックルの中に入っていることを確認してください。脚ベルトがしっかり平らに伸びて、ねじれがないか確認してください。



作業に入るときに撮影しておいた画像と見比べて、胸ベルトの取付けが元々のものと全く同じであることを確認してください。次に左の画像に示したように、脚ベルトの抜け止めの折り返し縫いを行います。ベルトの端 1.5cm を折り返して、供給キットに付属している針と糸を使用して 5 針、縫い重ね、結び目を作って余った糸の端を焼きます。

**T ロックベルトシステム装備のウッディーバレー ハーネスにおける、
問題性のあるフィンシュテルバルダー製バックルの交換方法。**



ここでは、T ロックシステムで片方の脚ベルトに取り付けられているセーフ T ストラップ (SAFE-T STRAP)の交換方法について述べます。

作業に入る前に、供給されたキットのバックルが元々ハーネスについているものと同一であることを確認してください。

セーフ T ストラップの根元のループ部分を切断します。脚ベルトを傷めないように注意してください。



ウッディーバレーから供給される、交換用のセーフ T ストラップ。

脚ベルトのバックルを交換用セーフ T ストラップのループの中へ通してください。





脚ベルトを新しいセーフ T ストラップのループの最も端の方へ寄せておいて、短い方のベルクロをセーフ T ストラップの上に折り返します。

伸縮素材のカバーを折り返してベルクロ部分を覆い、新しいセーフ T ストラップをしっかり留めてください。



(注意):

上記の文章での質問等は随時受け付けております。

また、ゲットアップベルトシステム・T ロックベルトシステムの交換をする際は、十分な確認を行いながら作業をお願いします。

なお、メンテナンスセンター(茨城県・板敷ショップ)にて、交換作業は随時行っております。

申し訳ありませんが、メンテナンスセンターへの交換作業依頼での送料はご負担となりますのでご了承ください。

(株)スポーツオーパカイト カスタマーセンター

〒315-0101

茨城県石岡市大増1900

0299-44-3642

(付記1:2016年6月4日フィンシュテルバルダー社セーフティーノート)

DHV Database SAFETY NOTE

セーフティーノート

日付:2016年6月4日

件名:フィンシュテルバルダー社製クリック-ロックおよび T-ロック バックルを胸ベルトに装備しているパラグライダーハーネスに対する安全性通告。



過去 3 か月間にクリック-ロック バックル(HSi10)を胸ベルトに装備する古めのパラグライダーハーネスによるインシデントが 2 件発生した。飛行中にバックルに荷重が加わっているときに、バックルが勝手に外れたのである。1 件のインシデントでは SAT マヌーバーを行っているさいに発生(パイロットがライザーに寄りかかって胸ベルトを広げていた)、もう 1 件のインシデントでは脚ベルトにだけ乗っていたパイロットの体重による荷重が原因ではないかと考えられる。

フィンシュテルバルダー社では技術調査を行い、以下が判明した。金属製タンクのフック(突き出し部分)が、胸ベルトにおいて発生する頻繁な対角線上の荷重変化によって摩耗する可能性があり、これが負荷容量の低下につながり、そして、一定以上の高い対角線上の荷重が加わった際にバックルが勝手に外れてしまったと思われるのである。

この発見を受けてフィンシュテルバルダー社では、該当するバックルがパラグライダーの胸ベルトに使用されている場合の運用期間を 4 年に制限した。すでに各ハーネスメーカーはこの通知を受けている。

現在のところ、T-ロック バックルが勝手に外れた例はないが、その構造はクリック-ロック バックルのものに類似しているため、同様の問題が考えられる。

フィンシュテルバルダー社は、胸ベルトにクリック-ロック バックル(HSi10)あるいはT-ロック バックルを装備しているハーネスの所有者すべてに対して、サンプル検査ラベルの定期試験日付をチェックしてそのバックルの使用経過期間を確認するよう求めている。もしその日付が4年以上の使用期間を示していたら、もはやそのハーネスには耐空性が認められず、以降の飛行には使えないということになる。対象となるハーネス所有者は、そのハーネスメーカーへの連絡が必要である。

この運用期間の制限は、パラグライダーハーネスの胸ベルトに使用されているクリック-ロック および T-ロック バックルだけに適用される。変化のない静的負荷だけのかかる部分に使用されている場合のクリック-ロックおよびT-ロック バックルの運用期間は10年である。

以下のハーネスメーカーはその1つあるいはそれ以上の種類のモデルにおいて該当するバックルを使用していた: Advance, AVA Sport, APCO, Finsterwalder & Charly, KARPO FLY, SKY Paragliders, SkyTrekking, SOL, Woody Valley

さらに何社かのパラモーターハーネスでもこれらのバックルが使用されている。

Finsterwalder GmbH
Pagodenburgstr.8,
81247 München

(付記2:2016年6月13日ウッディーバレー社セーフティーノート)

セーフティーノート:ウッディーバレー社のハーネスでフィンシュテルバルダー社の「クリック-ロック」および「T-ロック」バックルを装備しているもの

DHV から、パラグライダーハーネスの胸ベルトに使用されているチャーリー・フィンシュテルバルダー製の「クリック-ロック」および「T-ロック」バックルに対して、セーフティーノートが発表されました。

以下に、ウッディーバレー社製ハーネスで該当するバックル装備の可能性のあるもののリストを掲げます。

ハーネスモデル	認証番号
X-RATED 3	LTF 認証なし
X-PRESSION ACRO	LTF 認証なし
MIX	DHV GS-03- 0228-00
BIX	DHV GS-03- 0246-01
X-OVER 2	DHV GS-03- 0247-01
X-OVER 3	DHV GS-03- 0247-01
MIX-AIRBAG	DHV GS-03- 0302-04
PEAK	DHV GS-03- 0310-04
VELVET2 T-LOCK	DHV GS-03- 0335-06
VELVET2	DHV GS-03- 0336-06
VELVET AIRBAG 2	DHV GS-03- 0337-06
VELVET AIRBAG 2 T-LOCK	DHV GS-03- 0338-06
PASSENGER	DHV GS-03- 0340-06
PEAK2 T-LOCK	DHV GS-03- 0348-07
PEAK2	DHV GS-03- 0349-07
X-RATED 4	DHV GS-03- 0366-07
X-RATED 5	EAPR GZ-7235/10

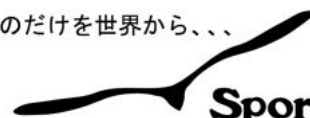
上記のハーネスの中にはチャーリー・フィンシュテルバルダー社のセーフティーノート(04.06.2016)で言及されているバックルを装備しているものがあります。他に異なるバックルを装備しているものもあり、こちらの使用は問題ありません。

以下は、セーフティーノートに記載されているチャーリー・フィンシュテルバルダー製バックルのリストです。



チャーリー・フィンシュテルバルダー社では、パラグライダーハーネスの胸ベルトに使用した場合にこれらのバックルの製品寿命を4年に限定しています。これはチャーリー・フィンシュテルバルダー製バックルを胸ベルトに使用していて4年以上たったハーネスは全て、もう使用できない、ということを意味します。これとは異なり、パラグライダーハーネスの脚ベルトに使用されている場合には、これらの「クリッカーロック」および「T-ロック」バックルは10年の製品寿命が保たれます。

良いものだけを世界から、、、



Sports Opa Kite

株式会社 スポーツオーパカイト

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-24-15 第二川田ビル 3F

(TEL) : 03-3291-0802

〒315-0101 茨城県石岡市大増 1900 (カスタマーセンター)

(TEL) : 0299-44-3642